

		科目			研究指導	
一般教養科目		専門科目			主指導教員	副指導教員
		必修科目	選択必修科目	選択科目		
修士1年	科学者・技術者の倫理 Academic English1 Academic English2 環境安全科学 ウォーターサイエンス特論 知財情報科学 サイエンス・ライティング 科学文化概論 知的財産特論 物理学から見る理学の最前線1 物理学から見る理学の最前線2	工業化学研究1	〈物理化学系〉 工業物理化学特論1 工業物理化学特論2 工業物理化学特論3 〈化学工学系〉 化学工学特論1 化学工学特論3 化学工学特論2 〈無機分析化学系〉 無機分析化学特論1 無機分析化学特論2 無機分析化学特論2 〈有機化学系〉 有機工業化学特論1 有機工業化学特論2 有機工業化学特論3	工業化学特論1 工業化学特論2	所属研究室の決定 主副指導教員の決定 研究指導 助言 修士一年中間発表 学会発表 研究指導 助言 学会発表 修士論文の作成 修士論文発表 修士論文本審査	
		工業化学研究2	〈複合化学系〉 複合工業化学特論1 複合工業化学特論2 複合工業化学特論3			
修士2年						
【修了要件】 修士課程においては、工業化学専攻所定の期間在学し、工業化学分野における高い専門性と倫理観、国際的視野を持った研究者・技術者・設計者等を養成するために編成された授業科目を履修して所定の単位を修得し、かつ修士学位論文の成果の審査に合格した学生に対して修了を認定し、修士の学位を授与する。						

注：大学院共通教育プログラムにおいて、英語、コミュニケーション、倫理、環境などの教養科目が開講されている。積極的な履修が望ましい。



【修了後の進路】 食品、繊維、化学、薬品、化粧品、鉄鋼、電子・電気機器、自動車、精密・医療機器、印刷機器メーカーなど(設計、開発、研究、生産技術などの職種) 電力、ガス、エネルギー、総合研究所など(設計、開発、研究、情報処理などの職種) 国家公務員、地方公務員
--